

和気橋の架け替え及び周辺道路整備に関する要望の概要について

主要地方道岡山赤穂線整備（和気橋の架け替え）促進期成会では、安全で円滑な交通環境の実現と地域の安心・安全のため、岡山県に対して以下のとおり要望活動を行っています。

【要望の背景と現状】

岡山県と兵庫県赤穂市を縦貫する主要地方道岡山赤穂線は、緊急輸送道路にも指定された重要な幹線道路です。そのなかで、吉井川に架かる「和気橋」は、町内の東西を結ぶ国道 374 号や各種道路と接続し、町民の暮らしや産業を支える極めて重要な橋梁です。

しかし、和気橋には現在、次のような深刻な課題を抱えています。

老朽化と狭小な幅員：昭和 39 年の架橋から 60 年以上が経過し、幅員は欄干を含めて 6.7m と狭く、大型車両同士のすれ違いに大きな支障を来しています。

耐荷重の不足：大型車両が多く通行するにもかかわらず、設計荷重が 14 トンのままであり、特殊車両の通行にも条件がつく状況です。

渋滞と安全面の懸念：通勤・通学時間帯には渋滞が発生しているほか、集落を分断するように通る県道において死亡事故も発生しています。

こうした現状に対し、住民自ら実施したアンケート調査では、橋の架け替えを求める声が 90%を超えるなど、住民の皆様の切実な民意を受け、昨年 5 月に「主要地方道岡山赤穂線整備（和気橋の架け替え）促進期成会」を設立しました。

住民の命を繋ぐ「安心の架け橋」を実現するため、期成会では以下の「地域住民の願い」を岡山県へ強く要望しています。

【地域住民の願い】

・和気橋の架け替えの早期実施

緊急輸送道路としての機能を確保し、大規模地震への耐震性を高めるとともに、老朽化および狭隘（きょうあい）を解消し、大型車両の通行に支障がない橋へ架け替えること。

・交差点改良および左折レーンの設置

渋滞の緩和と安全で快適な通行を実現するため、和気橋東側の国道 374 号線交差点の改良及び和気橋東側への左折レーンを設置すること。

・県道岡山赤穂線の安全対策・整備

地域住民が安全で安心な生活を送ることができるよう、県道岡山赤穂線の抜本的な整備を行うこと。

期成会役員一同、これら「地域住民の願い」の実現に向け、今後も必要な財源確保と早期着工を求めて、岡山県への要望活動を粘り強く継続してまいります。

（要望書は令和 8 年 8 月 6 日に備前県民局建設部長へ提出）